

先日、礼拝の後にスーパーで買い物してる時、娘に「みんなで食べられそうなおやつ、女子きなの見ておいで」と言ったら、1分もしないうちに嬉々として戻ってきました。手にしてる袋を見ると「まんじゅうミックス」！おばあちゃんセレクト!!と思わず大笑いしてしまいました。チョコレートやスナック、ドーナツなど並ぶ中でそれを選んだセンスが面白くも謎でありましたが、よく見ると、チョコ味、栗あん、焼いもあん...と家族それぞれ好きそうな味のまんじゅうで、何とも良いセレクトだな〜と微笑ましくなりました。そして自分が幼い頃母と買い物に行くと、お店に入らず「いいもの見てきていい?！」とお菓子売場へ直行していたことを思い出しました。「いいもの」= お菓子、という意味でしたが、お菓子売場はどれだけ目眩めいても飽きない楽しい場所です。おやつタイムはすごく楽しみだったなあと懐かしくなりました。我が子たちも、毎日「おやつタイム」がかなりの楽しみで、出かけたりにしておやつを食べてないことに気付くと、もう夕方なのに「今日おやつ1コも食べてない!」と大騒ぎです。

「おやつは食べなきゃいけないわけじゃないし、食べなくても死なないよ!」なんて言っていますが、そういう問題じゃないんですよ。私だって子どもが寝た後の夜のおやつタイムが何よりも楽しみだったりします...。甘いものって、おいしいものって、小さな幸せを与えてくれますよね。聖書には「あなたのみことばは蜜より甘い」とあります。蜜より甘い!? よくよく考えたらすごい甘さです。みことばの甘さを実感したこと、あるでしょうか? 時々苦いこともあります。聖書の言葉、神様からのメッセージは、何よりも勇気と元気と励まし、そして幸せを与えてくれる力があります。おやつはその時だけの幸せだけれど、みことばはいつまでも変わらない幸いを与えてくれます。なんて素晴らしい!! おやつを求めるように、日々みことばを慕い求める者でありたいですね。今夜、聖書を読んだ後のおやつは生石庵(宮城)のホタテシューティングです。

まきばでひとやすみ



さむいね

ロバ子